

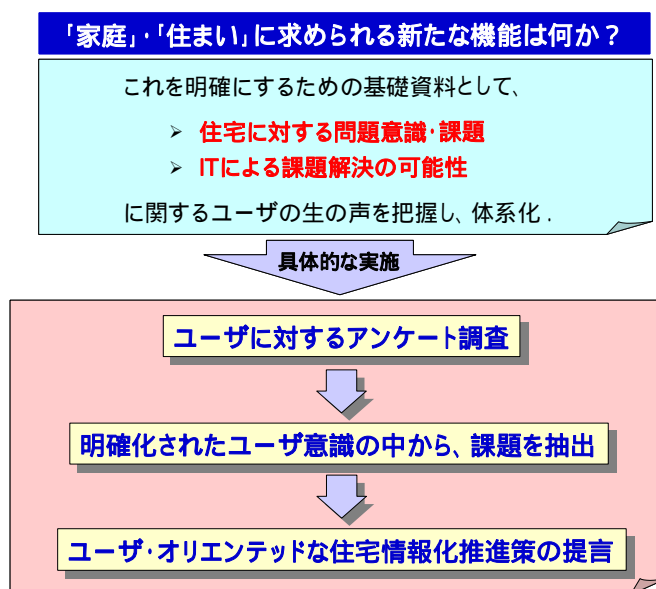
## - 2 . 住宅情報化に関するユーザー実態・ニーズ調査

### The Survey of User's current Status and Needs in Informatization of Houses

<b>キーワード</b>	住生活、ホームネットワーク、ブロードバンド、インターネット、 少子高齢化社会、心の豊かさ
<b>Key Word</b>	Dwelling Life , Home Network , Broadband Service , Internet , Aging Society with a Falling Birthrate , Spiritual Richness

#### 1. 調査実施概要

##### (1) 調査の背景と目的



##### (2) 調査実施概要

調査方法: Web サイト上でのオンラインアンケート

調査対象: 会員制オンラインアンケートサービス事業者 (株)マクロミルの会員  
20歳以上の全国のインターネットユーザ

調査実施時期: 2005年10月

回答数: 1048票 (2000年の国勢調査における「20歳以上の人口構成比」に則って、回答者の年齢を調整)

主な調査事項

- ・回答者の属性  
性別、年代、職業、家族数、家族構成、居住地、居住形態、間取り、居住年数
- ・住宅の情報通信環境とIT利活用状況  
インターネットアクセス回線、家庭内LANの構築状況、コンセント・ジャック等の設置状況、LPガス等の集中監視システムの利用状況、各種機器の保有状況およびネットワーク化対応状況、情報通信機器の利用状況、情報通信機器・サービスの利用状況、利用目的
- ・住生活における関心事と問題点
- ・IT利活用の効果、IT利活用による住生活の問題解決への期待

## 2. 調査研究成果概要

### < 住生活で顕在化している問題点 >

- ・各分野別の課題中で、回答割合が高かった項目を抽出すると、「個人情報の漏洩・流出」、「税金の負担増」、「ウィルス感染」、「収納・整理がうまくできない」、「蛸足配線化」の順となる。
- ・住宅でブロードバンドネットワークを介してインターネットを利用している生活者にとっては、「IT 利活用」、「機器操作」に関する問題 = 安全で快適な IT 利活用を阻害する事項が大きな問題点となっている。
- ・住宅内での整理・収納場所に困っていることが見過せない問題点となっている。

### < 日常生活における IT 利活用の効果と問題解決への期待 >

#### IT 利活用の効果

- ・全世代で「趣味・レジャーの充実」、「生活の利便性向上」を実感している。
- ・高年層は、「知識や知恵の体得」、「生きがい」、「個人の活力」に IT 利活用の大きな効果があがっている。

少子高齢化社会において、IT 利活用は高年層の生活充実感の醸成に寄与している。

#### IT 利活用による住生活の問題解決への期待

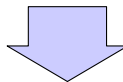
- ・現状の効果に比べて、「生活・家事の効率化」、「生活コストの削減」、「生きがい」、「健康維持・管理」、「在宅ワーク」、「安心・安全性向上」、「災害対応」、「生活弱者への対応」に、より多くの期待が寄せられている。

IT 利活用による効率的で安心・安全、健康的で優しい暮らしの実現に期待している。

### < 住宅情報化推進に向けた提言 >

少子高齢化を背景としたユーザ・オリエンテッドな「住まい」のあり方の見直し

- 多分に制約要因となっている「住まい」(ハードウェア)
- ITが解決し得る「住まい」の機能、生活の豊かさ



### 「質」の重視への移行

- 世代により傾向の異なる「期待」を包容するために、「心の豊かさ」の視点を重視
- ユーザの視点に立ち、設備・機器の操作性を簡易化
- 家庭内、地域コミュニティにおけるコミュニケーションへの回帰